

# 第3次大館市総合開発計画

## 21世紀への懸け橋

自然と産業が調和した文化創造のまち“おおだて”

近年、時代の流れの中で高齢化、国際化、情報化及び地球環境の悪化というのは、次第に市民生活に、あるいは経済、産業の活動に影響を及ぼしてきています。  
こうした社会の変化に的確に対応し、二十一世紀に向けて躍進するため、本市は市民共通の

### 21世紀初頭の望ましい大館の姿

新計画を貫く基本理念は、「自然と調和し市民相互の連帯にさせられた理想的な中核都市」をつくることです。  
大館には美しい自然があります。その自然と巧みに調和を図りながら、市民の英知と活力を結集し、二十一世紀に向けた魅力あるまちづくりを総合的に推進しなければなりません。

### 基本理念

二十一世紀に向かって、本市が進むべき方向を示した「第3次大館市総合開発計画」がこのほどまとまりました。市民活動の指針となるこの計画は、平成三年度を初年度に、十年後の十二年度(西暦二〇〇〇年)を達成目標としたものです。  
大館の現状と優位性、時代の流れ、国や県の方針など、基本的認識を踏まえたうえで、「自然と調和し市民相互の連帯にさせられた理想的な中核都市」の実現をめざします。

目標として、計画に次の五つの都市像を掲げています。

- 健康で明るく、うるおいのある福祉都市
- 若さと活力に満ちあふれている産業都市
- 自然と調和し、住みやすさが保たれている快適環境都市
- 学習の機会が保障され、芸術文化の香り高い生涯学習都市
- 広域圏の中核として、都市機能

### 11の課題と21の戦略プロジェクト

◎ 主要課題	◎ 課題解決のための21の戦略プロジェクト
1. 活力ある長寿社会の形成	①人生80年、健康づくりと医療の充実 ②心のかよいあう福祉の推進 ③ふれあいと生きがいのある相互信頼に結ばれた地域社会の形成
2. 地域資源を生かした産業の振興	④自立できる農林業の確立と地場ブランドの育成 ⑤蓄積された技術を生かした鉱工業の振興 ⑥自然と資源と文化を生かした広域観光ネットワークの形成
3. 魅力ある商店街の形成	⑦個性と魅力ある商店街づくりの推進
4. 労働環境の整備と若者の定住促進	⑧若者に魅力ある労働環境の整備
5. 快適な生活環境の創造	⑨安全でうるおいのある都市環境の整備 ⑩地球にやさしく住みやすい知的居住環境の整備
6. 高速交通体系の確立	⑪全国1日交通圏参入と県内90分交通体系の確立
7. 情報発信機能の向上	⑫高度情報ネットワークの構築
8. 創造性豊かな人材の育成	⑬明日の大館を担う感性豊かな青少年の育成 ⑭高等教育機関を核とする新しいまちづくりの推進 ⑮いきいき生涯学習の推進 ⑯伝統文化の継承と新たな文化の創造
9. 自由時間活用のための環境の整備	⑰スポーツのメッカづくりの推進
10. 大館らしさの確立と交流の促進による地域活性化の推進	⑱地域文化を生かした国内外交流の展開 ⑲調和と連携による広域行政の推進
11. 近代的行政運営の推進	⑳近代的行政運営の推進 ㉑開かれた市政運営の推進

能が高度に蓄積されている情報・交流の拠点都市  
このような「望ましい大館の姿」を実現するため、前期五カ年(平成三十七年度)の計画では、十一の課題とこれを解決するための二十一の戦略プロジェクト(左表)を設定しています。  
総合開発計画は、毎年の実施計画にしたがって、具体的に推められます。

### 実現には市民参加が必要

新計画に盛り込んだ目標を達成するためには、市民の皆さん一人ひとりがこれに参加していかねばなりません。  
市では、この計画のダイジェスト版を作成し每户配布します。

### 市長メモ



No.48

### 今、改めて4H

四Hクラブ。そうです農業基本法が制定されるころまでの農業後継者クラブのことです。ヘッド(頭)、ハンド(手)、ハート(心)、ヘルス(体)の頭文字をとり、この四つの条件を整えようとするものでした。

その四Hを耳にしなくなつて三十年が経過しましたが、今改めてこの思想を再現し、農業だけに限らず、すべての後継者に訴えたいと思います。

時代感覚あふれる頭脳、積極果敢に取り込む技術、感性豊かな心、苦難に負けない健康体。この四つのHを整えることは至難の技かもしれませんが、人材を求め側からすれば、とことん追求してほしいことです。

今、激動する社会、経済環境などだけに、その変化に対応できるのは、四Hを整えた人ではないでしょうか。それをだれが、どこで、どうして育てるかは、それぞれ知恵も、口も出し合つて具体的にしていきたいと思います。

名と假名